

# 令和4年度 学校関係者評価報告書

ユービック情報専門学校

学校評価委員会

## 1. 経過

### 第1回学校評価委員会

令和4年7月15日開催

- ・会長選出
- ・今年度の学校計画と現状について
- ・学校運営、教育活動の説明

### 第2回学校評価委員会

令和4年11月4日開催

- ・学校経営計画の中間報告
- ・9月29日実施の授業アンケート結果の説明

### 第3回学校評価委員会

令和5年3月20日開催

- ・委員会の最終評価と目標に対する自己評価
- ・2月14日実施の授業アンケート結果の説明

## 2. 関係者評価報告

### 1. 自己評価について

おおむね良好であり、妥当な評価と思われる。一部評価の低い箇所があるが、コロナ禍での制限、小規模校という特色がある中で、それぞれの目標に向かってしっかりと取組をされてきたことがうかがわれる。

例えば、(3) 教育活動 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュ

ラムの作成・見直し等が行われているか」では、外部の団体から意見などを取り入れて、医療系のカリキュラムを見直し、学科改編につなげるなど努力していることがわかった。

また、「学生のボランティア活動を支援しているか」について、昨年は『小規模校でも参加可能なボランティア活動への機会があれば支援を期待する』と報告したが、今年はそれを実行し、加えて学生委員会を活性化することにより各種イベントの計画・実現を果たしたことは、逆に少規模校ならではの取り組みであったと思われる。

## 2. その他について

今年度は新型コロナウイルスの流行から3年目となり、3月現在ではかなり落ち着いているといえる。とはいえ今年度の広報活動においても制限を受け、少子化の影響も相まって入学者の目標を達成できず、昨年度より少ない入学者数であった。

昨年度同様に、発熱生徒の出席停止とアルコール消毒などの感染防止策を徹底して、学習活動及び校外学習や行事等の特別活動を順調に実施してきた。また、各コースの先生方の協力と生徒の頑張りで例年の成果を上げたことは評価したい。昨年も指摘したが、各種資格試験等の受験料の値上げが相次いでいる。学生の費用負担増から、受験機会の減少になることが危惧される。

1年間の学習成果を発表する成果発表会が、今年も1月の最終日曜日の29日に実施された。その前日に「プレゼン大会」と称して全学科コースの代表者が、全校生の前で研究発表を行って3年目となった。本番の研究レポートや製作物の展示等で、日頃の学習の成果発表として締めくくることができた。感染防止を考慮した模擬店の運営のために、昨年は6階大教室をイートイン、1階に調理場、そしてオンラインで注文というシステムを構築した。今年はそのシステムをバージョンアップし、リアルタイムに売上状況を把握することができるようにした。各コースの学習成果であり、生徒の学習意欲の向上につながったと考えられる。また、IoTエンジニアコースの3年生が電気工事士コースの補習授業等を受講して、第二種電気工事士免許を取得した。各コースの授業等の乗り入れによる、ひとつの成果である。更なる向上を期待する。